



会 長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副 会 長 妻神 和憲 幹 事 小田山紀暢
クラブ奉仕 石橋 信雄 会 計 岡崎 孝文
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
社会奉仕 深澤 隆 副 幹 事 中村 稔彦
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同 委 員 松林 拓司 同 委 員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！
～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

11月 は ロータリー財団月間です

第3332回例会

2024.10.30

会 長 要 件 橋本八右衛門 会長



先週末土曜日に八戸市総合防災訓練でロータリー展示をしてきました。参加をしてくださりました皆さま、ありがとうございました。他の団体

でもロータリアンの方々が活躍されていて、最後に一緒に写真を撮りました。ロータ君も自立したのが収穫だったかと思っています。

先週理事会がありました。理事会の中でロータリーはプログラムを承認を得てどんどん進んでいくわけですが、すでに11月、12月の予定がそこで承認される状況でした。本当に1年は早くであつという間にここまで来たなということを感じながら、だんだんと石橋会長エレクトが組織作りに動き始めていて、相談を受けたりしています。去年を思い返してみても、苦勞したということを感じながらいましたので、そのことを会長要件で申し上げたいと思います。

12月第1週の会員総会で次年度役員体制を承認いただかなければいけないというスケ

ジュールで動いています。今、その人選で一生涯懸命動かれています。ロータリークラブの先輩からは「ロータリアンにNOということばはない」というありがたいお言葉、そして呪いのおことばをいただきまして、お願いをするときに動き回るわけです。

幹事のときもそうでしたし、会長の組織作りのときにもひじょうにへこたれた思いがあります。やはりここにいる先輩方はそういうこともなく、協力するよという快い言葉でいろんな役回りをやっていただいた方々だろうと思っていますが、やはり“喜んで”ということばが欲しかったなと思返して感じています。それぞれの忙しさ、事情などがあるとは思いますが、やられていない、やられたことのないような要請があったときはぜひ積極的に参加して欲しいと思っています。

けっこううちのクラブは人数が多いので、会長幹事も1回やれば二度目は回ってこないというような形ではありますが、他の人数の少ないクラブの人たちは、もう年々かおきに会長幹事をぐりぐりとやっているし、当然いろんな委員会、組織の中の重要な役割もやっ

ている感じです。どういうやり方をしているのか分かりませんが、やはり経験値を積んでいます。プラスになっているとは思いません。

うちのクラブも人数は多いし、そういう形にはなっていますが、なかなか頼んでも事情があって参加していただけない場面もひじょうに多かったです。そういうところを自分なりにぜひ考えていただいて、本当に先輩の方々はいろんなことをやられてきているので、そこら辺はそういう立場ではいらっしゃるかと思いますが、おれは上がったというようなことを思わずに協力していただければいいですし、入ったばかりの方々もまだそういう年数でない、まだ経験していないということではなく、新しいことが経験できるというような考え方でぜひ積極的に、自分のために経験を積むという考えで、ぜひいろんなものに協力していただければひじょうにいい。それが「ロータリアンにNOということばはない」というところにつながるのではと思っています。

取りあえず12月の役員ですが、その後だんだんと各委員長を決めて、全体の組織が成り立っていきます。わたしも組織作りにはひじょうに苦勞はしましたが、お陰様で皆様の協力を得て順調に、皆で努力をして今年度を組み立てて今まできていますので、ぜひ次年度も皆でいい年度の組織を組み立てて、全体で動いていければいいなというのを願ひ、本日の会長要件とします。

2023-24年度地区表彰伝達

長寿ロータリアン（満80才）山田慶次さん



幹事報告 小田山紀暢 幹事



○令和6年9月能登半島豪雨災害支援について

きょう各テーブルに封筒を用意しています。クラブで取りまとめをして地区に送金する支援金です。

○小菊荘支援について

八戸クラブ独自のものですが、小菊荘への支援金です。米も高騰して物価も高くなっています。市の施設で入居者の居住費用は市から出ますが、食費は各自負担、自費だそうです。今の物価高が直撃しているそうです。そこで八戸クラブとして何かできることはないかということで、支援金を取りまとめをして、集まったお金で何か物資、食材などを買って小菊荘にお渡ししましょうということがままりました。最低1,000円よろしくお願ひします。

○IDMについて

AテーブルとEテーブルのIDMが本日10/30にあります。18:30~三日町こうしんビル内の伊知郎です。

○12/1 西第2グループIM開催のお知らせ
参加の方は申し込みをお願いします。

○次週11/6休会のお知らせ

委員会報告

親睦・会場委員会

加藤範尚委員



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝 鶴飼寿栄さん

・奥様誕生祝

妻神和憲・高谷勝義さん

・結婚記念日 村館珠樹さん

橋本八右衛門さん 八戸市の防災訓練に参加された皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

小田山紀暢 } 築館さん卓話楽しみにしてま
上村奉樹さん } す。

竹石 雄さん バッジ忘れしました。

宮下 悟・夏川戸 齊 } ニコニコデー
小井田和哉さん

八戸市総合防災訓練参加報告



宮下 悟実行委員長

26日土曜日に八戸市の防災訓練に初めて参加しました。会長、幹事、われわれ委員会の他に築館直前ガバナーをはじめ、何名かの方に駆け付けていただきました。どうもありがとうございました。

わたしが思っていたほど簡単なものではなく、かなり本格的な訓練でした。警察、消防、自衛隊、海上保安庁の方もいて、かなり真剣に訓練されていて、ちょっと心の準備が足りなかったなと思っていました。来年はぜひ前の日にワインなどを飲まないで行きたいと思っています。前日の金曜日にグランドサンピアでワインのイベントがあり、栗谷川敏彦さんと加藤範尚さんの3人で救助が必要なくらい酔っ払いましたが、いいワインだったのか朝スッキリ目覚めました。(岡崎さんありがとうございました)

当日、設営が終わったところです。用意したのはのぼりと横断幕、八戸市と結んだ協定の内容のパネル、ロータリークラブの説明。隣は建設業協会の方々で中村稔彦さん、山田慶次さん、寺下一之さんがいらっしゃいました。いろいろわからないことも多かったので、お三方からご指導を賜り、何とかこんとかブースを完成しました。

ロータ君を連れていきましたが、誰かが“着て”しまうとその人が何もできなくなってしまうので、5本ののぼりうち2本をつぶして串刺し状態にしたら、このようにロータ君が生まれて初めて自分で立った！歴史的瞬間です。のぼりが飛ばないように錘になっていますが、あれを靴のような柄を塗ると、いつものロータ君になるのかなと思いました。

橋本会長を筆頭に防災訓練の協定内容、これからどのような動きをしていくのかという説明をしました。ロータ君はひじょうに人気があり、家族連れの子がにっこり笑って

写真を撮りました。訓練で記念撮影というのも不謹慎かと思いましたが、参加した皆さんで1枚記念写真を撮りました。

今後はこのイベントに限ってやってといわれたと思っていましたが、これからもずっと続くということで、もう少し勉強して、災害はないほうがいいのですが、残念ながら毎年のようにどこかここかで大惨事が起きているという現実がありますので、来年からは実のある訓練にしていきたいと思っています。

南グループ合同ゴルフコンペ報告



石橋信雄さん

10月26日(土)に南グループ合同ゴルフコンペが八戸カントリークラブで開催されました。本来はわたしも館鼻岸壁に行っているいろいろ勉強しなくてはいけないところでしたが、八戸クラブが誰も出ていないと言われ、急遽、わたしと松本剛典さんの2人で参加しました。

26組24名で、キャンセル待ちもあったようですが、八戸クラブを代表して出てきました。松本さんは6位のスコア、わたしは14位でした。

懇親会もひじょうに盛り上がり、新設された衛星クラブのさくらエイトさんから4名参加、八戸市内のロータリークラブの皆さんが中心となってたいへん盛り上がりました。源新パストガバナーが本当にこれは良かったということで、来年、小林さんがガバナー補佐になる予定ということで、八戸クラブは来年10組で何とか企画して欲しいとの話もありました。二次会もたいへん盛り上がりていました。本来は館鼻に行きたかったのですが、本当にすばらしい機会でした。来年は70周年の機会でもありますので、皆さんもぜひご参加いただければと思います。

○ロータリーの友が今届いたらしいです。来週も休みですので、今日いらした方には入り口のところにロータリーの友を置きますので、帰りにお持ちください。きょう欠席の方はレターボックスに入れておきます。



「私とロータリークラブ」

築館智大さん



考えてみるとわたしも入って23年経っています。きょうは「わたしとロータリー」の話をしたいのですが、20数年も経っていて、去年わたしは地区の役職をやっていたので例会にあまり出ていなかったのも、意外とわたしを知らない方も多いなと思いますので、先に自己紹介をしたいと思います。

1955年3月3日生まれ、69才になります。大学は電子工学科を出ています。その頃の電子工学科はほとんど大型コンピュータをいじっていて、フォトラン、コボルの言語でいろいろやっていました。1955年とコンピュータをくっつけると実はこの2人が1955年生まれなんです。わたしと同じ年に生まれています。ご存じだと思いますが、スティーブ・ジョブズとビル・ゲイツです。こちらはアップルコンピュータを作った方です。こちらはマイクロソフト、今でも現役でロータリーと一緒にビル・ゲイツ&メリンダ財団を作っていて、ものすごいとてつもない巨万の富を持っているので、それでポリオと一緒に世界から無くそうということをお願いをして、一緒にやっています。

わたしもそうでしたが、この方たちは“コン中”ってご存じですか？実はコンピュータ中毒のことです。今こどもたちがゲームを一生懸命夢中になってやっていますが、わたしたちはそういったゲームではなく、コンピュータにとにかく触っている、プログラムを作って、自分の思ったようにいけばいいのですが、いかなければそこに欠陥があるわけです。コンピュータ用語でバグといいます、そのバグを見つけてひたすら喜んでいう。この二人も同じ年なので、たぶん同じようにやっていたと思います。食を忘れて、寝るのを忘れて、寝食を忘れて、寝なくてもいいからとにかくいじくっていたいということで、わたしも随分頑張っていました。

大型コンピュータは大学や研究所など大きいところでしかなかったもので、これからはチビッコ、NEC-TK80というコンピュータのワンボードマイコンというもので最初は一生懸命やっていました。実はこれがいっちょ前にコンピュータだというのは、ここにキーボードがあって、電卓みたいな液晶があって、CPUがあって一生懸命計算する。これがたぶん信号が出たり入ったりするのを制御するもの、メモリーがあるなど。わたしたちの頃は自分で秋葉原に行ってチップを見つけてきて、それで設計をして、いろいろ考えながらやっていく。

これを打ち込む。意味不明な機械語です。機械にわかることばをわたしたちが教えるわけです。忠実なペットみたいなもので一生懸命教えるわけです。教えると機械は本当にそのままをきっちりやる。その教え方が間違っていると機械は動かない。それで一生懸命やるわけです。わたしたちはこれが何かわからないわけですが、これを人間がわかるようなことばになってきたのがコボルやフォトラン、マイコンではベーシックです。そういった言語でこれからどんどんコンピュータを動かして制御していく。

先ほどの16進です。0123456789abcdefの16進でやっていくと、例えば00、01、02、03、04、05、06、07、08、09とやっていくと、最後は09の次は0aになります。10進法だと繰り上がるのですが、16進だと0fの次が10になります。

ディスプレイは昔は画面がなかったので、あれはグラフィックをコントロールするチップがないと動かない。ですから電卓と一緒にです。ディスプレイみたいなものがありますが、これが電卓の計算の液晶です。ですから1234567890abcdefしか表示できないです。だけどそれで例えば真ん中の液晶1個光らせる、次にここを光らせる、ここを消す、次に光らせる、次にここを消す、次にここを光

らせる、消す、消す、消す。ここからピコッと1をやって、こっちからトトトトをやってミサイルでピュッと撃ち込んだら、これがぜんぶピカピカ光って、1点というようなゲームも作れるわけです。この真ん中をテテテテ、これがどんどん早くなるとピュッと行っちゃうわけです。それをどれかのキーを押してピュッと撃ち落とすとハイ1点、というようなゲームをこんなコンピュータでも一生懸命作っていた。

これからだんだん進化して行って、だんだんこうなります。皆さん懐かしい方もいると思いますが、NECのPC80001、88001、98001です。SHARPのMz80。この頃はまだ漢字も使えません。ディスプレイも一応あるのですが漢字も使えませんので、カタカナ表示と英語表記、数字表記だけでした。漢字を使えるようになって、コンピュータはアメリカから来ているので、漢字とひらがなはひじょうにグラフィックが複雑で大変なので、それ専用のものが必要になってくる。日本独自で開発しなければならぬわけです。短漢字といって1つの漢字を、例えば昭和〇年の場合、「昭」の字をコード表から見つけて、そのコードを打ち込むと「昭」の文字が出てくるという時代でした。この頃は記録媒体がカセットテープでした。

コンピュータをいろいろいじくって、八戸でもパソコンショップをやっていました。その前はコンピュータをいじくって遊んでいた頃は秋葉原のマイコンショップでバイトをしながら大学を卒業して、さらにコンピュータ専門の各種学校に行って勉強のし直しをして、八戸でマイコンショップをやっていました。

ひょんなことから1990年に青森県で初めてマクドナルドをやってみないという話がありました。そのころ手を挙げている方がけっこういましたが、日本全国では鳥根県と青森県の2県だけがマクドナルドがない。創業者の藤田 田が日本国中に作りたい、青森にも作れと一生懸命言っていました。そこで藤田 田は青森県だったら八戸に作りなさい。岩手県なら盛岡、秋田県なら秋田市、山形県なら

山形市、宮城県なら仙台に作るんです、ふつうは。ところが青森県は八戸の方が絶対に一号店としてふさわしい、ということで。青森市より八戸のほうが活気がある、三沢が近い。一号店は絶対八戸に作れば成功するというのでやりませんか、と言われたのではいとやることになりました。

わたしは電子工学科を出て、全然畑違いですが、マクドナルドは特別に何科を卒業したらすぐになれるものではない。ですから誰がやってもいいわけです。信ちゃんがやっても、薬剤師の道尻さんでもできたと思います。

それでここからはほぼ自己紹介が終わって、なぜわたしがマクドナルドに入ったかをお話します。実はマクドナルドは仕入れ先はすべて本部からです。ですからすべてのものを本部から仕入れて、お客様に売っているわけです。ですから、特別な仕入れ先は本部だけです。それからお客様も一般の方々なので、年賀状を出すのは、本部はアメリカの会社です。そういうものはやらない。すると年賀状を出すのは親せきしまきだけ。お中元お歳暮はない。ですからオーナー同士で会社の経費を使ってお中元お歳暮を交換したり、それくらいしか社会とのつながりがない。お客様に対してはお客様アンケートを常にやっています。今でもずっと続けていますが、それ以外は経営者として一人でボーっとしているわけです。

これで一人の人間としてこれでいいんだらうかと考えはじめるわけです、だんだんに。最初は青森県で初めてやっところきで作って、ちょうど2年経ってからイオン下田ショッピングセンターができ、そこにもお店を出すことになり、いろいろしていました。ですからちょっとドタバタして、その後結婚して、子供もできて……。

ふと気が付いてこれでいいのかな。社会人として、一経営者としてやはりいろんな先輩の方々からいろんなお話を聞きたいと思っていました。わたしはその頃はライオンズもロータリーも何も全然しりませんでしたので、ただ黙って近くの飲み屋に行って、そのマ

スターといろんな話をしていました。そうしたらそのマスターがライオンズに入っていました。わたしのことをトモさんと呼んでいましたが、「トモさんだったらライオンズじゃないな。ロータリーのほうがいいと思うよ。」

そうしたらたまたまですよ、たまたま。わたしも本当に恵まれていると思うのですが、たまたまその隣に見ず知らずの親父がそこに座っていました。だったら俺が紹介してやるよ。それはわたしも当時はライオンズもロータリーも知らないんですよ。ライオンズよりロータリーがいいよ。うちに来る？ いいですか？ すごく軽いノリで入会させてください。ですから皆さんの中で自分から手を挙げて入れてくれと言ったのはわたしくらいしかないのではないかな。これは自慢ですが。

ということで2001年6月に入会しました。歴史と伝統のある八戸ロータリークラブです。それもたまたま隣にいる方が八戸ロータリークラブの方でした。これが東ロータリークラブの方だったら東に入っていたわけですが、北クラブの方なら北クラブに入っていたのですが、たまたまその方が八戸ロータリークラブでやんちゃな人だったので、いいよ、入れてやるからといって、入れさせていただきますました。

もちろん歴史と伝統のある八戸ロータリークラブに入会させていただきありがとうございます、と言いました。その頃、先輩の方々はものすごい方で、吉田昌平さん、笹垣正弘さん、金入忠清さん、正部家種康さん、接待一雄さんなど、こういう方々がものすごくいっぱいいらっしゃいました。入ってすぐに新会員応援隊ができました。新会員は右も左もわからないわけで、それこそメーカーって何？ それこそガバナーが来てもどこの親父？ と全然右も左もわからないわけですが、新会員応援隊でこのものすごい方々が新しく入った人たちにロータリーはこうだ、おもしろいんだ、というのを飲みながら一生懸命、わたしたちに話をいただきました。

これはたぶん2回目か3回目くらいのときに、吉田昌平さん、正部家種康さん、接待一

雄さんと村上隆三さん（のちに村上さんが会長のとくにわたしが幹事でした）。佐々木健展さんは入会2年か3年目くらいの新会員でしたが、この方がわたしがいつも行っている居酒屋で隣にいた親父だったわけです。その頃、佐々木さんとは全然面識もなく、タケちゃんがうちのクラブに来ればといろいろお話しして、次の週に入りました。

実はこの時に正部家種康さんは書道の臨泉会の会長をされていた吉田昌平さんに、書を書いているから若い者に何か書いてやるんだと話をし、来週持って行くから。翌週に色紙に書いてもらいました。これは「和気満堂」と読みます。わたしはこれに感激しました。

わたしのように右も左もわからない小僧がその頃の吉田昌平さん、正部家種康さん、接待一雄さん、橋本昭一さんなどすごい人たちがいたわけですが、その方たちと酒を飲みながら、あのね、あのね、こうなんだ、といろんな話が出て、色紙まで書いてくれる。わたしは八戸ロータリークラブに入って、ものすごく感激しました。入って良かった。皆さんも今そう思っていると思いますが、本当にやる気が出て来たわけです。頑張らなければいけない、勉強しなければいけない。この「和気満堂」をもらって、わたしはずっとこれを大事に額に入れて玄関に飾っています。

それから幹事をやり、会長を仰せつかりました。その時に会長の自分の年度のスローガンとして、この吉田昌平さんからいただいた色紙をコンピュータで字を取って、横文字にして「和気満堂」。“和”は平和の和です。これはお堂の中に和やかな平和な空気が満ちま



すようにという意味です。だから楽しくみんなやりましたよということ。これを会長のとときに1年間スローガンにして、八戸クラブの中で一生懸命やったわけです。

会長をやったらすぐにガバナー補佐が決まっていました。ガバナー補佐が終わるか終わらないかのうちに、ガバナーの1年前はエレクト、その前はノミニー、その前はデジゲネートとその段階からいろんな研修が始まりますが、わたしはガバナー補佐が終わった段階でノミニー、エレクト、ガバナーを仰せつかりました。その時も青森県2830地区の地区スローガンに会長と同じ「和気満堂」を掲げ、仲よくやっていこうね、ニコニコしながらやっていこうねということでお話をしました。

その時の組織図ですが、八戸ロータリークラブのこのくらいの方々に地区の中に入っていていただいて活躍をしていただき、わたしを助けていただきました。この場をお借りして皆さんにお礼を申し上げます。

ロータリーに入ったらいろんな方々と会える、どんどん友だちになり、知り合いになる、

いろんな先輩からいろんな話が聞ける、ロータリーに入ってすごく楽しい、楽しいと言っていたのですが、実はこれは基隆ロータリーの方たちとの一緒のゴルフの写真ですが、これはビンセントの娘さんが結婚したときに、わたしたちがお祝いに行ったときの写真です。ですから海外にまで友だちができたということです。実は昨日、ワンさんの奥さんから待ってますよ、とラインをいただいたので、待っててね、と返しました。ラインを訳してみたら、最近日本でも人気の曲で台湾の留学生が地元を宣伝するために作ったすごくかわいいビデオをどうぞとありました。

きょうはこの卓話があったので、午前中にやるつもりがドジャーズとヤンキースの試合があったので、そちらを見ていて結局11:4で負けましたが、わたしは絶対に勝つのではないかと思って、これを用意していました。やはり大谷はでかいです。やあ、良かった！と最後に言おうかと思ったのですが、残念ながら次回に繰り越しました。

出席報告						出席委員会																	
第3332回例会（10月30日）				第3330回例会（10月9日）																			
出席率		57.8%		出席率		54.0%		修正出席率		61.9%													
総会員数		65名		出席数		37名		総会員数		65名		メイクアップした人数		5名									
出席義務会員		64名		出席免除会員		1名		欠席数		27名		出席義務会員		63名		出席免除会員		2名		欠席数		24名	